

# 光市医師会報

No 169

周南医学会・光医師会体育大会特集号



昭和61年11月発行  
光市医師会

## 第92回周南医学会

とき：昭和61年9月28日（日）  
9：30～16：30

ところ：光労働福祉会館  
光市浅江4丁目1番50号  
電話光72-1923  
(公衆電話)

主催：周南医学会

引受医師会：光市医師会

## 第92回周南医学会あいさつ

光医師会長 竹中昭二

本日は秋晴れの好天気にも恵まれてゴルフ等屋外行事に参加したくなる様な状況に拘らず当周南医学会に朝早くより多数お集り頂き誠に有難う御座居ます。

先般の山口県医師会における日本医師会医学講座に引き続きの研修と言う事でお疲れの事と存じますが、最後まで御聴講下さいますようお願い申し上げます。

昨年10月下松市におきまして次期開催の御指名を頂き光栄に存じておりますと共に責任を痛感して居る所であります。早速、理事会及び月例集会に計りまして周南医学会準備委員会を結成、本年8月まで数次にわたり委員会を開き検討を重ねてまいりました。本年8月からは光市医師会全員が実

行委員となり本日の運営、進行について協議、実践して参りました。

皆様御承知の通り本年4月、日本医師会が医師生涯教育の策定を致し山口県医師会としても県なりに各研修会を実施されて着々と研修の実をあげている所であります。

本日の周南医学会の開催につきましても生涯教育の一端となる様、会員の集り易い会にする為にはどの様な特別講演を選んだらよからうかと苦慮致しました。

殊に周南医学会は各々異った専門の先生方の集りでありますので、特にこの点について準備委員会としましては協議致してまいりました。幸に一般演題も予想を上廻る多数の集りをみましましたし、特別講演もどの科の方が聴講されても何等かの参考になりませう様な演題を選定出来ましたことを非常に嬉しく思っている所であります。

以上の様な経過で本日第92回周南医学会を開催する運びとなりましたが、何分不慣な事で運営、進行になにかと御不満な点もあるかと思ひますが、光市医師会員の努力と熱意をお汲みとり頂きましてお許し下さる様お願い申し上げます。

午後からは本日のメインであります山口大学酒徳教授の「一般医に必要な最近の泌尿器科」及び千葉大学水口教授の「痛みをもつ末期癌患者に接して」の特別講演があります。最后迄聴講されますようお願い致しまして私の御挨拶といたします。



## 水木光市長挨拶

光市市長の水木でございます。

本日は第92回の伝統と权威ある周南医学会が当光市でかくも盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また周南各地からご来場いただきました諸先生方、大変ご苦労様でございました。

心からご歓迎申し上げる次第でございます。平素は地域医療各般にわたりまして、格別な御指導と御協力を頂き衷心より厚くお礼申し上げます。

近年の国民生活の変ぼうには著しいものがあり、国民の健康に及ぼす諸要因も複雑多様化しております。

一方、高度経済成長時代の反省を踏えまして、改めて人間の尊厳が再認識され、人間活動の基本的な要件としての健康に関する価値感が国民全般の意識の中に涵養され、昂揚しつつあると考えます。とりわけ人生わずから50年と言われた時代から、人生80年時代を迎えるに及び、高齢化社会への対応が叫ばれる折、ひと潮強く感じられるのであります。

申し上げるまでもなく、健康で明るく住みよい社会の実現は国民が等しく願って止まないものであります。私どもも全力を傾注しているところでございます。

本市におきましても、市立病院の総合化、保健センターの建設など、医師会の御熱情と御支援によりまして、一定の成果を上げつつあるところでございます。平素からのご支援に深く感謝の意をささげるものでございます。今後共一層の御指導と御協力を

賜わりますようお願い申し上げます。最後に、周南地域の各医師会の御発展と各先生方の一層の御健勝を祈念申し上げ、ごあいさつといたします。

## 柳井市医師会長挨拶

柳井医師会長の桧垣です。

来年度の第93回周南医学会は柳井で開催されることになりました。ここで柳井医師会長として、一言ご挨拶をさせていただきます。

今回光医師会におかれましては適切なる特別公演を企画され、又特に17題にもおよぶ一般公演をされました。これは近年にはないことであります。光市医師会のみなさまのご尽力に心から敬意を表したいと思います。来年柳井におきましても光に負けないように、たくさん的一般演題を出させていただきまして、にぎやかに開催させていただきたいと思っております。

これにつきまして早々と演題等の準備にかかりますので、みなさまのご協力をお願い致します。

こちらの医師会のように立派な運営が出来ないかも知れませんが、医師会員全員で協力しあい一生懸命やりますので、多数のみなさまのご出席をお願い致します。

簡単ではございますがこれでご挨拶にかえさせていただきます。

## 周南医学会顛末記

福本寿雄

昨年6月、山口県医学会総会を光市で引受けた経験があるので、今回は簡単だろうと気軽に考えていた。しかし、いざ日が近づいてくるにつけ、会場の設定など気持ばかり焦ってきて何も手がつかなかった。昨年市民ホールでやった折は、市の職員が大勢手伝ってくれたり、指導してくれて助かったが、今回は新日鉄の会館だったので手伝ってくれる人も少なく、新日鉄の林さんと宮本さんの二人にいろいろ聞いては、やらねばならなかった。

しかし、いざ準備委員会を設立すると、竹中会長が率先して会場の設定から準備委員会のメンバー表作製までこまめに基礎固めをして、我々の方向を指示してくれた。一般演題の募集、整理及び特別講演の講師、演題などは、富恵・板垣両先生が誠にこまめに動いて交渉された。又案内状やプログラムの印刷及び看板等は中村(琢)、丸岩両先生が熱心に几帳面に準備された。又他の理事さん達も夫々の役割を真剣に取組んでくれ、準備も着々と進んでいった。昼食弁当と進行係は私が主に準備した。進行のアナウンスは市役所のウグイス嬢に頼んでいたが都合でこられなくなり、ガラガラ声で聞きづらいと思いつつも又しても私が受け持つこととなってしまった。

開催の前日の午後、多数の会員が集まってくれ、準備もアツという間に出来上り、全員一致しての協力体制に心より嬉しく感じました。

さて当日は、すばらしい晴天に恵まれ、暖かくもあり、昨年の県医学会の大雨に比べてとても幸せであった。午前8時に全員集合し準備したが、全員で協力してやったので、小1時間で終了し少々時間をもてあました位であった。会場は立派な建物、設備であり広さもかなり広いので120位の席をつくった。空席が目立ったらと心配したが、9時半前より次々に入場され、開会の時には約3分の2位の席が埋まっていた。

時間通り9時半に開会し、8分の発表時間で17題の一般講演を行った。(但し1題欠となったが…)。時間的に予定通りに行くかと心配したが、6分で終るのもあり、又10分過ぎても終わらないのもあったが、大体予定通り12時20分に午前の部を終了したので一安心した。演題の発表は、開業医が4題と少く、殆んどが公立病院であり少々淋しかった。公立病院の発表は判りやすいものもあったが、純専門的で判りにくいのもあり、少々くたびれた。

なお出席者の申込みは、光市以外の会員が101名であったが、その内実際に来られたのは76名にすぎなかった。しかし申込みしなかった人で来られた方が24名もあり、主催者として誠に嬉しかった。従って出席者は光市医師会員を入れ137名で大たい予定通りであった。唯残念なことは、昼食時間が30分位しかなかったので、私も弁当を食べ終って煙草1本喫ったら、もう1時になっていた。あわててマイクの前に走っていった程でした。昼休みにゆっくり会員同志のコミュニケーションが出来なかったことは誠に申し訳なく思っています。しかし、その反面会場の入口の喫茶

室がいつも一杯で、笑い声が聞こえ、今迄になくコーヒーが良く売れたとっていたことは嬉しかった。

周南医学会総会も予定通り午後1時より進行し、水木光市長も心よく出席され祝辞を述べて頂いた。祝電も6通あり、丁寧な心からの長文の電報もあり嬉しかった。約15分でスムーズに終了した。

午後の特別講演は山大的酒徳教授で「一般医に必要な最近の泌尿器科」であった。会場は一杯で座席が足らず、急遽補助席を30位追加した程であった。少々時間的にオーバーしたが、我々にも判りやすい話で皆熱心に、そして真剣に聞いていたようだった。しかし進行係としては第二題の特別講演の講師の時間的な関係があるため少々気をもんだ。

第二題の特別講演は千葉大の水口教授で「痛みをもつ末期癌患者に接して」であった。末期癌患者の心理状態、患者への医師の接し方等の話で、我々開業医として身につまされる、すばらしい話であり非常に深い感銘を受けた。残念なことに空席が少々目立ったが、しかし全員皆真剣に話に聞き入っていた。もう少し時間があればもっと話を聞きたい雰囲気であった。

予定通り午後4時30分に終了し閉会した。後片付けも全会員の協力で30分でアツという間に終了した。全会員の協力一致で真にスムーズに終了したことに心より感謝したい。ことに平常の月例会にも顔を合わせることの少ない光市立病院の13名の全医局員が参加してくれ、会場の照明、冷房、スライドの受付と映写そして呼び出しのオーバーヘッド等に全員が心より協力し

てくれたことに心より感謝したい。

光市医師会員全員が一致団結して、この周南医学会を成功させたことに心より感謝すると共に、今後のチームワークを深めてゆくことを願ってやまない心境である。

## 第92回周南医学会の印象記

富惠 哲

会場は落ち着いて素晴らしい雰囲気だし、学会の運営もスムーズに行き、一般演題も予定より沢山出題された立派な学会であったと思います。久し振りに会った先輩のK先生「光医師会は、仲々、やるのー」と言い乍ら、講演を聞いて居られました。此の一言で、昨年の県医学会、続いて今年の周南医学会と、心痛された竹中会長も満足される事でしょう。

プログラムの作製、特別講演を企画した板垣先生と私も、学会が無事終了して、ほっとしました。只々、綱渡り的なスケジュールを、特別講演の水口教授に押つけた後、トラブルが起ったらと考えて、私は心因的な喘息発作に襲れた事を報告して、若し、プログラムに御不満があった先生方に、お許しを乞い度いと思います。

座長として、印象記をとの事ですが、何遍登壇しても、あがる、気の弱い私なので、水口教授が話された内容充分覚えて居りません。私なりに話を伺って、感じた事、考えた事を記し度いと思います。

水口教授のお話を要約すると、痛みのある末期癌患者にも、人間として価値のある生命を全うして貰い度い。その為には、医

者として、病気を診るのではなく、病人を診るのだ、患者の疼痛に対する不安、心理的な葛藤、感情的な起伏、それ等を患者の位置で考えるべきだと述べられた様に思います。

広島での救急医学会のシンポに、「救急医療に於ける生命と倫理」がありましたが、これが行はれた動機は、ある大学教授から「自分の父親は死ぬ時、多くの点滴注射のほか、口や鼻から管を入れられて、一言も言はずに死んだ。惨めで見て居られなかった。自分の死ぬ時には、あんな事をして欲しくない」と言ふ言葉から、此のシンポが企画されたと言書かれていました。私も、それを読んで、全く同様な事を考え、想いをめぐらせました。

イギリスの名医ジデナムの言葉「どんな患者にも、私が病気になった時、こうして欲しいと思うやり方以外は、私は行はなかった」と。

末期癌患者をはじめ、臨死の救急患者、其の他の臨死の患者の対応は多種多様だと思いますが、水口教授の御講演の中に出て来た Quality of Life (生命の盾)と言ふ言葉を、医者としてもう一度、考えて見るべきではないでしょうか。

印象記が少しピント外ずれで、私の貧しい意見の開陳になりましたが、水口教授の御講演は、やゝもすればなほざりにされ勝ちな全人的な医療への、吾々に対する刺戟であったと思います。

## 周南医学会印象記

守友雅彦

9月18日、好天に恵まれ、会員多数の出席をいただき、島田川河畔に立つ光労働福祉会館にて、第92回周南医学会が盛会裡に催された。

日常、惰性に流され、10年1日の如き診療をくり返している身にとっては、大変良い勉強となった。この刺激を基に、すぐ家で勉強すれば良いのだが、凡俗の身、本を開けては見るものの、すぐ寝込んでしまう毎日である。

16題の一般演題、各々立派な研究内容であった。開業医ながら、いつもよく発表される高本先生・富恵先生・武内先生・岩国超音波同好会、よくもあそこまで追究されるものだと頭の下がる思いです。病院からの発表は、CT、心筋シンチ等高度の検査器材を使ったものや、私の診療所には来ないような(見逃がしている?)専門的な疾患についてのものでしたが、どこの病院では、どう言う検査をやっており、どう言う疾患を取扱っているかが判り、病診連系の重要さが言われている現在、専門医への紹介上参考になった。

午後の酒徳教授の特別講演は、泌尿器全般にわたる盛沢山な内容で、大変良い勉強になった。

最後の水口教授の特別講演「痛みをもつ末期癌患者に接して」は非常に感銘深い講演だった。

「末期癌患者の痛みをとるには、毎日患者のもとを訪れ、悩みを聞き、のめり込ま

なければならない」と。のめり込み、とことん最後まで診療出来るとは、医者として、すばらしい事であり、又医者の使命義務でもある。ヤブの私として、医者の端くれとして、心の片隅には、そうした思いもあるのですが、日進月歩の最新医学知識も医療設備技術もなく、患者さんには、最新、最高の医療を受けてもらいたく、患者さんの為を思って、専門医へ送ってしまう。医者としては、淋しい思いをしている。

真

最後に「とにかく患者をよく診る事につきる。どう言う事を患者さんから得られるか、教えられるか、これが私の人生の励みにもなり、成長となる。

こう言う体験を通じて、もう少し患者さんを診て行きたい」と講演を結ばれた。

医学者として、何と崇高な立派な人生を送って来られた先生だろう。皆が、こうあるべきだと言う医療の原点を教えられた思いです。



今回会場となった、光労働福祉会館  
会館のみなさん、ありがとうございました



スタンバイ OK!!



さあ— やるか



真



眼光キラリ!!の竹中会長



真剣な眼・眼・又・眼!!



水木市長さん、ありがとうございました



おれ達の若い頃はな……  
とごきげんな大野前会長



両座長さん  
ごくろうさまでした



こころで一発歌って  
おひらきとするか…  
ママー!! マイク



## プログラム

- 9:30 開会  
開会のことば  
光市医師会長 竹中昭二
- 9:35 一般演題  
座長：柳井医師会長 桧垣慶典
- 1：アレルギー性鼻炎における漢方と西洋薬の併用について  
下松市旗岡診療所 武内節夫
- 2：酪農業者にみられた職業性喘息の一例  
熊本郡平生町 高本医院 高本公
- 3：難治な皮膚潰瘍例の検討  
光市 富恵外科 富恵哲
- 4：CTディスコグラフィーの有用性  
町立大和病院整形外科  
◎坂本正・河野清・野田基博  
座長：玖珂郡医師会長  
名井真典
- 5：僻地での整形外科的三症例について  
町立大和病院  
◎大上仁志・重富美智・河本久弥
- 6：早期胃癌ならびに境界領域病変に対するSTRIP・BIOPSYの応用  
町立大和病院内科
- ◎大谷達夫・有馬暁光・三木秀生  
畑尾克裕・石崎浩史・長野裕之  
有馬喬  
山口大学第一内科  
◎多田正弘・竹本忠良
- 7：人間ドックにおける下部大腸内視鏡検査の意義  
周東総合病院内科  
◎村上敦司・斉藤満・安永満・森本哲雄・村田欣也・水田実
- 8：大和病院におけるホルター心電図の使用経験  
町立大和病院内科  
◎三木秀生・有馬暁光・畑尾克裕  
大谷達夫・石崎浩史・長野裕之  
有馬喬
- 9：超音波が発見の契機となった腹部大動脈瘤の一例  
岩国超音波同好会  
◎岩崎皓一・広中弘・木村直躬・松前良・片山恵之・浜本貞徳・山田孟・鈴木成憲・松浦宏・藤本郁夫・河郷忍・桑原敬直・正木昭夫
- 10：狭心症におけるDTCA及びA-C BYPASS術前後の心筋シンチグラムの比較  
町立大和病院内科  
◎長野裕之・有馬暁光・三木秀生・畑尾克裕・大谷達夫・石崎浩史・有馬喬

座長：熊毛郡医師会長 木村峻士

11：BHACの中等量および少量療法にて寛解導入した高齢者一急性骨髄性白血病の症例

町立大和病院内科

◎畑尾克裕・有馬暁光・三木秀生・大谷達夫・石崎浩史・長野裕之・有馬喬

12：IMMUNOBLASTIC LYMPHADENOPATHY の一例

周東総合病院内科

◎矢野秀・瀬口雅人・田尻三昭・水田実

13：下血を主訴とした小腸悪性リンパ腫の一例

下松記念病院外科

◎河内康博・松村寿太郎・古谷達男

下松記念病院内科

◎岩本功・浅上文雄

座長：大島郡医師会長 嶋元貢

14：漏斗胸の手術経験

周東総合病院外科

◎小林修・兼行俊博・平山徹

新谷清・守田知明

15：尿路結石に対する経皮、経尿道的摘出術

徳山中央病院泌尿器科

◎林田重昭・那須誉人・篠原陽一

16：徳山中央病院泌尿器科に於ける透折療法の現況

徳山中央病院泌尿器科

◎那須誉人・篠原陽一・林田重昭

12：20 昼食

13：00 周南医学会総会

会長あいさつ

来賓祝辞

次回引受医師会長あいさつ



13：20 特別講演

一般医に必要な最近の泌尿器科

山口大学医学部泌尿器科教室

酒徳治三郎 教授

座長：光市立病院院長

板垣省三

14：50



15：00 特別講演

痛みをもつ末期癌患者に接して

千葉大学医学部麻酔科教室

水口公信 教授

座長：富恵外科医院院長

富恵 哲

## 第92回周南医学会

## 実行委員会名簿 (敬称略)

- 1、講師関係—講師の出迎、見送り、接待  
◎富恵・板垣・竹中・河内山(清)  
大野・田尻・高畠・松村・渡辺(幹)
- 2、広報関係—写真、講演内容の収録  
◎藤原・近藤・吉村・守友・梅田
- 3、(A)スライド映写関係  
◎板垣・光市立病院医局・牛島診療所  
  
(B)スライド受付及び返還係  
◎板垣・光市立病院医局
- 4、進行係  
◎福本・渡辺(貞)・前田(昇)  
河内山(正)・高橋・平岡
- 5、受付—昼食(弁当)  
◎丸岩・中村(国)・広田・田中・光武  
藤村・事務局2名・薬屋関係3名
- 6、駐車場関係  
◎近藤・薬屋関係者
- 7、会計—講師謝礼の確認  
◎近藤・竹中
- 8、一般の接待—昼食時のお茶等  
※5の受付より移動

## 9、場内連絡の係及び場所の設置

◎中村(琢)・田村

## おしゃべり

とみえ さとし

娘と家内は、私をつかまえて、おしゃべりと言ふ。その理由は、毎年、学会へ厚顔しく出掛けては喋るからであるらしい。

私自身、本当は気が弱く、他人の前に出ると、顔が赤くなるし、お喋りは早口で、要を得ない事が多いので、喋るのは余り好きでないと、一言釈明をして置き度い。

昭和27年、医者になりたての頃、私は東京日赤中央病院の外科に籍を置いて居た田舎者の私は、都会っ子の先輩達に付いて行くのが精一杯で、朝早くから、夜遅くまで、病院の中を走り廻って居た。小児病棟の受持ちで、ヘルニヤ、アッペの子供を相手にして居た所、先天性胆道閉塞症の坊やが黄色な顔をして入って来た。小児外科の走りであったらうか。注意深く全麻をかけてLONGMIREの手術を行ったが不成功で、とうとう胆汁は出て来なかった。数日して、部長から、病院の集談会で症例報告をしろとの命令である。医者になったばかりの私に喋れるわけがない。図書室へ行って文献を漁る事も知らないし、又、当時の事なので図書も殆んど無い。何日も眠れぬ日が続いた事か。当日、壇上にあがって喋り始めたが、何を喋って居るのが本人にもわからない始末。とうとう、部長、業を煮やして、「馬鹿者!!。もう良い、わしが喋る」と壇上へあがって来て喋り出した。皆の前で、馬鹿者と怒られたのだ

から、恥しさ、情けなさ、真赤な顔をして、壇上でおろおろした事を今でも思い出す。それから数年、大学でアルバイトを始めた。当時、私の研究は内分泌に関係があったので、日本内分泌学会で発表させられる事になった。今度は、リハーサル、リハーサルで、原稿用紙に朱が何度も入る。教授は、斉藤茂吉の弟子、歌人なので「てにをは」、にうるさく、「それが日本語か」と怒鳴られ乍ら、6分喋る為に、何十時間練習したであらうか。慈恵医大の講堂で開かれた内分泌学会で喋った事、ありありと思い出す。フロアーの質問に返答が出来ずもたもたして居ると、教授が手を挙げて、共同発表者としてと言ひ乍ら返答してくれたのも懐しい思い出である。どうやら、喋る事数回。

大学を止めて田舎へ引込む時、教授であったか、先輩であったか、はっきりしないが、「開業したら、せめて年に1回は学会で喋る様に」と言う言葉である。

今、思い返へすと、私にとって素晴らしいはなむけの言葉であったとしみじみ思っている。開業医の生活は、患者に追われて、ややもすれば勉強がおざなりになり勝ちで、落ちついて本を読む時間もない。年に一度の学会での発表は、止む得ず本を読む時間である。偉い人を見ると、つまらない症例報告かも知れないが、考按を考へ、フロアーの質問に備えて、成書を読んだり、文献を探したりで、忘れた事を思い出し、新しい研究に自分の不勉強を嘆き乍ら、充実した時間を送る事が出来、少しは勉強した気分になれる。私にとって、学会の発表は、家内の言ふおしゃべりでなく、勉強する一

つの手段で、生涯研修のやり方の一つであると考へている。

年を取って、段々、厚顔しくなると、壇上へあがっても動じる事が少くなるので、何時までも、赤い顔をせず、訥訥と喋った頃の学問に対する純な気持を持ち続け度いと願っている昨今である。

皆様も勉強の方法に、おしゃべりを採用しては如何ですか!!



**ガンバルゾ!!**

## 医師会月間行事

### S61年10月度 理事会

10月14日(火) 於 医師会館

- 1: 老人保健法による一般健診、事後承諾の件  
(竹中会長)
- 2: 来年度の心臓検診の方法
- 3: 研修セミナーのバス利用の件
- 4: 癌情報収集登録について  
(以上福本理事)
- 5: 麻薬講習会の件
- 6: 次例会時の骨粗鬆症VTRについて  
(以上富恵理事)
- 7: 光市国保との懇談会報告
- 8: 「一人医師医療法人」説明会の報告
- 9: 第一回老人ホーム入所判定委員会報告
- 10: 薬価規準改正4品目について
- 11: 税務講演について  
(以上中村琢理事)
- 12: 光市医師会収支決算報告(半期分)
- 13: 周南医学会中間会計報告  
(以上近藤理事)
- 14: 周南医学会特集号の資金について  
(竹中会長)
- 15: 体育大会(ボーリング)及び永年勤続者表彰の件  
(藤原理事)
- 16: 青少年育成愛の募金について  
(竹中会長)

### S61年10月度月例会・研修会

10月28日(火) 於 医師会館

#### 月例会

##### 報告事項

- 1: 薬価基準改正について
- 2: 光市国民健康保険課との話し合い結果報告
- 3: 「一人医師医療法人」説明会報告  
(以上中村琢理事)
- 4: 生涯教育研修セミナー講演内容変更のお知らせ
- 5: 消炎鎮痛剤能書変更について  
(以上竹中会長)

##### 協議事項

「老人保健法による成人病検診について」現在の書式、検診結果の伝え方、その後の指導方法について討議する。

#### 研修会

##### 研修会そのⅠ

麻薬に関する事務受付及び麻薬講習会

##### 研修会そのⅡ

骨粗鬆症と活性型ビタミンD<sub>3</sub>

## S61年度 体育大会

ボート大会及びに永年勤続表彰式

10月19日(日) 於下松ホール

光医師会恒例の体育大会は今年はボート大会と言うことで、Drを始めとして、職員・家族多数の参加者の中でアットホームで笑いに満ちた一日を過ごすことが出来ました。お世話をして下さった藤原先生に大きな感謝と拍手をおくります。ありがとうございました。

## ボート大会成績表

- 1位：河村紀子(市川医院)  
 2位：久保 (藤原皮フ科)  
 3位：播元好枝(市川医院)  
 4位：馬場ふみ子(高橋医院)  
 5位：福本貴美子(福本医院)  
 7位：峯崎 (高橋医院)  
 19位：守友雅彦(守友医院)  
 50位：山根久美(市川医院)  
 100位：原たまゆみ(吉村医院)  
 ハイゲーム：河村紀子(市川医院)  
 子供の部1位：岩崎穰

## 東西対抗成績表

東：9606点 } よって東の勝利となる  
 西：8790点 }

PS：好プレー、珍プレー、の続く中で子供の部で1位をとった、岩崎穰君の一生懸命な姿はひときわ眼をひくものがありました。岩崎君オメデトウ!!

## 永年勤続表彰

## 永年勤続3年

富恵外科：中森智子・姉ヶ山律子・大江賞子  
 市川医院：鈴木智子  
 吉村医院：森永信子  
 福本医院：川口セツ子  
 高橋内科：長田慶子・神谷景子・渡辺隆介  
 (以上9名)

## 永年勤続5年

近藤整形：菅光美根子  
 渡辺外科：小林ひろみ  
 市川医院：山根久美・播元好枝・柳井益子  
 前田医院：新谷モモコ  
 中村眼科：板谷祥子・江内邦子  
 高橋内科：岡室美津江・国弘初代・木下泰子  
 守友医院：重水ヨシエ  
 河内山医院：宮本正子・岡崎町子  
 (以上14名)

## 永年勤続10年

高畠医院：岩崎洋子  
 近藤整形：降重明美  
 富恵外科：福島梅子  
 守友医院：小林敬典・有井幸子  
 (以上5名)

## 永年勤続15年

高畠医院：小川須美子  
 渡辺外科：足達具世  
 福本医院：重見佳代子  
 (以上3名)

## 永年勤続40年

前田医院：橋フミエ  
 (以上1名)



長寿のお祝  
ごくろうさま、ありがとう



なごやかで楽しい試合風景

### 緑友会ゴルフコンペ

	アウト	イン	グロス	HD	ネット	順位
守田	43	47	90	9	81	4位
諏訪	49	48	97	12	85	7位
横山	49	45	94	16	78	準優勝
国本	57	54	111	28	83	6位
藤村	43	42	85	6	79	3位
光武	46	46	92	10	82	5位
前田	47	49	96	19	77	優勝
高橋	49	52	101	18	89	8位



## あとがき

今月号は周南医学会特集号ということで主に周南医学会にまつわる記事にしました。昨年の県医学会の時、私は日曜当直医だったのと理事でなかったのとで、何も知らずじまいでしたが、今回は準備委員会、実行委員会、学会の当日と、打上げを通じて、役割分担から役務遂行まで、とてもスムーズで皆が学会なれしているなあという感じがしました。

学会場に於ては、この原稿のためにテープの録音を一生懸命やっておりましたが、残念なことにテープの調子がわるく、役に立ちませんでした。

今回は富恵先生より2題原稿をいただきました。とくに“おしゃべり”は、自分の勉強のために一年一題は演題を出すというこの辺りが先生の立派なところであり、私の様な不勉強族にはとてもつらい、オハナシ!!でした。

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社